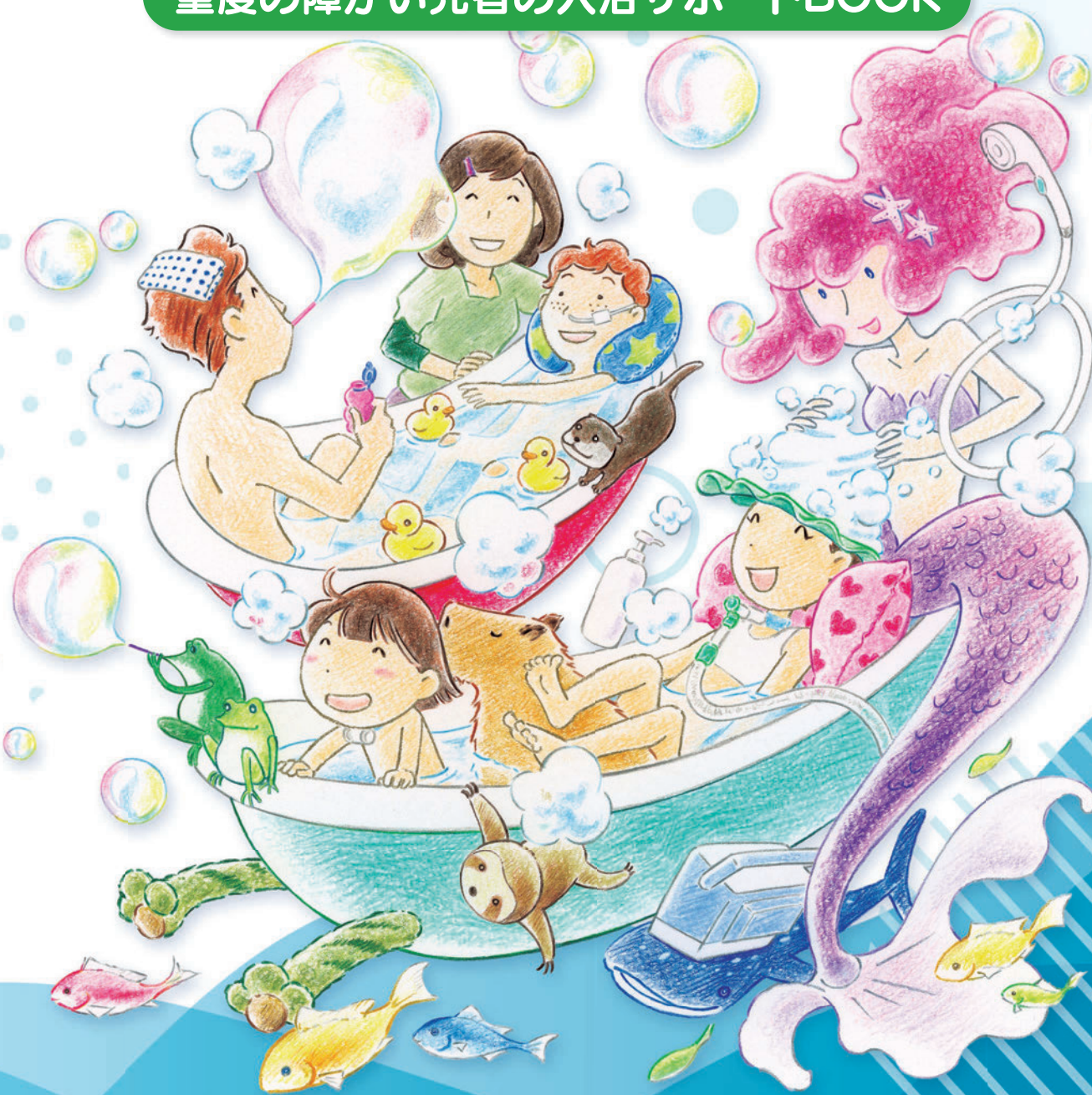


在宅で安全・安心に お風呂を楽しむために

重度の障がい児者の入浴サポートBOOK



とちぎ地域生活サポート研究会

はじめに

障がい児者特に人工呼吸器や気管切開などの医療的ケアが必要な方の入浴は生命の危険もありますし、人手もかかります。そのため、本当は1週間7日のうち7日お風呂に入りたいと思っても（*7分の7：大泉江里様）、それをあきらめ、お風呂に入る快適さも阻害されてしまうことがあります。できれば、誰もが、体がきれいになり、あたたまり、心身ともにリラックスしてお風呂に入ることができないものでしょうか。

例えば、人工呼吸器をつけた子どもがお風呂にはいるためには、「ひと」と、「もの」の双方を考える必要があります。

ひと：家族・ヘルパー・訪問看護師・訪問入浴スタッフなど

もの：浴槽・シャワーいす・リフト・医療機器に水がかからない工夫など

それぞれに、活用するための制度や、体のサイズや筋緊張、住環境などの個別・具体的な工夫が必要です。お風呂といっても、奥が深いのです。

とちぎ地域生活サポート研究会は、地域で主に障がい児者に関わる多職種の集まりです。2022年度は、入浴に関する多職種での協議、実態把握、先進地視察等を踏まえ、在宅で生活する重い障がいのある子どもや大人が、「安全で楽しい入浴ができる当たり前の暮らしの実現」を目指して研究をしてきました。その集大成がこの入浴サポートBOOKです。助成をいただいた公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団様、協力者の皆様、研究会のメンバーの皆さんに心より感謝いたします。

当事者の方、関係者の方、関心のある方に、ご活用いただければ幸いです。

とちぎ地域生活サポート研究会

代表 高橋 昭彦

*重度の障がい児者の入浴に関して、当事者ご家族の立場で研究されている大泉江里様は、7日分の7日、お風呂に入りたいと思えば入れる支援体制、環境があるかどうか、その人の生活の豊かさのバロメーターになるという考えで、お風呂の「7分の7」を提唱されています。



イラスト作成：菅野風歌さん(学生)

C O N T E N T S

もくじ

① 入浴の作用と効果	2
② 入浴のリスクと予防	3
③ お風呂に関わる住環境と福祉用具	4
④ ライフステージにおける入浴状況	
1) 0～2歳	8
2) 3～10歳	10
3) 11～18歳	12
4) 18歳～	14
⑤ 入浴前に体をほぐすためのワンポイントアドバイス	16
⑥ (参考資料) 入浴の支援が受けられるサービス	18

● 表紙のおはなし ●

お風呂は体を温めるだけでなく、心もホッとさせるものです。表紙絵は、カピバラやナマケモノなど大好きな動物たちや家族のみんなと一緒に、楽しく気持ちいい湯船「バスタブ号」で冒険の旅に出る様子を描いたものです。

猫足のバスタブは魚を追いかけてながら、大海原を翔る。
お湯に浸かるの大好きカピバラは大の風呂トモ。
人魚にはせっかくなので洗髪をたのもう。
ママにやさしく見守られながら、パパとシャボン遊び。
お風呂冒険はいつだってファミリーの和みがあります。

だれもが、どんなときも、お風呂を楽しむことができる、
そんな世の中であってほしいと願いを込めて…。



① 入浴の作用と効果

入浴の作用

● 温熱作用

- 毛細血管が広がり血流が良くなる
- 体内の老廃物、疲労物質が取り除かれる

● 水圧作用

- 体表面、皮下の血管、リンパ管などに圧力が加わる
- 血液やリンパの流れをよくする

● 浮力作用

- 体重が減る
- 身体全体の緊張がほぐれ動きやすくなる

入浴の7大健康効果

- ① 温熱作用 …………… からだを温めて血流アップ
- ② 静水圧作用 …………… しめつけて「むくみ」を解消
- ③ 浮力作用 …………… 筋肉や関節をゆるめて緊張をとる
- ④ 清浄作用 …………… 身体の汚れを洗い流す
- ⑤ 蒸気・香り作用 …………… 免疫力を高め、自律神経を整える
- ⑥ 粘性・抵抗性作用 …………… 手軽な運動療法効果
- ⑦ 開放・密室作用 …………… 日常から開放されるリラックス効果

(東京都市大学人間科学部教授 早坂信哉先生より提供)

② 入浴のリスクと予防

入浴のリスク

浴室熱中症

- 脱水状態のままお風呂につかると、体内の水分が不足しているため血液がドロドロになり、上昇した体内の熱を放出出来なくなるために起こる

ヒートショック

- 浴室と浴室外での気温差が大きく急激な温度変化によって血圧が大きく変動することによって起こる

心筋梗塞や脳梗塞

- 血栓ができるため引き起こされる

リスクを減らす入浴の5つの心得

- ① 入浴前後に水分を摂る
- ② ぬるめの温度は副交感神経が刺激され、血圧が下がり、心身ともにリラックス（ぬるめの湯温38℃くらい）
- ③ 長風呂はしない（30分以内）
- ④ 全身浴は、体が温まり、血流が良くなるので、冷えの改善に効果的で、むくみの解消や肩こりにも効果あり
- ⑤ 心臓や肺に疾患がある人は半身浴がおすすめ

3 お風呂にかかわる住環境と福祉用具

子どもの成長とともに入浴方法は変わっていきます。同時に親の成長、つまりプラスの面では介助方法の上達や心の余裕など、マイナス面では筋力低下などに影響を受け、さらに使うことのできるサービスの量や質も残念ながら一定ではありません。一方で入浴は転倒による怪我や無理な姿勢による腰痛などのリスクが高い生活行為であり、多くの方はヒヤリ・ハットを経験していると思います。

そのようなリスクを少なくすることは、親子ともに快適で楽しいお風呂時間を作り出すためにとても重要です。その実現のためには様々なアプローチがありますが、このページでは住環境と福祉用具の面から考えてみましょう。

1 「お風呂が狭い」と感じてきたら

1) 簡易浴槽が洗い場に収まらない

ベビーバスから徐々に大きな簡易浴槽や「たらい」へと移行する際の工夫です。

① 浴槽スペースを活用する

浴槽の上に板を渡すなどして簡易浴槽を置く工夫もありますが、浴槽をまたく形で設置できる製品が市販されています。一般的な広さの浴室に対応し収納時には分解も可能ではありますが、収納スペースを用意する必要があります。



● 簡易浴槽ミニ

1416サイズ(*)以上のユニットバスに収まるサイズで身長140cm程度まで入浴可能。安全を確保するためのスリングネット付属。フレーム部は特注も可能。(アビリティーズ・ケアネット)

*浴室内寸(奥行き×幅)が1400mm×1600mmの大きさ

② 浴室扉を変更する

引き戸への交換が理想的ですが建築的に難しく浴室全体の改修となる場合が多いのが実情です。内を開くタイプの扉を折れ戸に交換するとは可能で、浴室内のスペースを有効に使うことができます。既存扉の枠を利用し戸の部分を交換できる製品が市販されておりリフォーム店などで施工が可能です。



● ドアリモ・アタッチメント四方枠(施工例)
既設枠内に収まり半日程度で施工が可能。(YKK AP)

2) 身体が大きくなってきた

身長が伸び洗い場や浴槽で寝た姿勢が取れなくなってきた時の工夫です。浴槽扉の変更も効果がありますが、本人の心身機能から可能であれば座位へ移行の検討が必要な時期です。合わせて洗髪の方法の変更などを考慮する必要があります。

① 入浴担架やシャワーチェアを利用する

安定した姿勢を維持するためにはリクライニングやティルト（座面傾斜調整）の機能が必要です。浴槽内での使用を想定する場合は浮力で用具が浮いてこないか確認します。



● **洗身チェア ユニット リフトンウェーブ**
座面高さなど自由度の高い調節と、ヘッドサポートなどのオプションの組み合わせが可能。利用者にも介助者にも安楽な姿勢で入浴・洗身が可能。（アビリティーズ・ケアネット）

② 浴室ではない部屋で入浴する

居室などに設置が可能で、子ども用プールのように空気で膨らませて使用する簡易浴槽が市販されています。給湯と排水が必要ですが専用のポンプを用意する製品もあります。床にブルーシートを敷く、部屋全体を温めることも併せて考えます。

● **コーシン快護お風呂**

床やベッドの上で膨らませて使用する簡易浴槽。空気で膨張させるフロア（空気入れ）、家庭の浴槽から給湯するポンプ、残り湯を排出するホースなどが用意されています。（弘進ゴム）



③ お風呂にかかわる住環境と福祉用具

② 「移動が大変」になってきたら

1) 抱っこ移動から卒業したい

浴室ではない部屋も選択肢ですが、浴槽には入らずシャワーだけで良い場合の工夫としては・・・。

① 入口段差の解消

高さと大きさ、形状をオーダーで製作でき、浴室洗い場に設置する「浴室すのこ」が市販されています。また浴室床をリフォームで改修することも可能です。洗い場の床高さが変わると、相対的に浴槽深さや水栓器具の高さも変わりますので注意が必要です。



●エコボードすのこ

洗い場の広さや形状に合わせてオーダーが基本。アジャスター付きで床面の勾配や凸凹を調整することが可能。(矢崎化工)

② シャワーキャリーの活用

入口段差の解消が前提です。段差解消しても入口サッシのレールに凹凸がありますので、キャスターの大きさなど、お子さんが乗車した状態での移動の円滑さを試すことをお勧めします。リクライニング機能を備えるタイプはサイズも大きく、浴室広さとの適合に注意する必要があります。

●ミクニマイティーストレッチャー

ほぼ臥位までリクライニング姿勢をとることができるシャワーキャリー、座幅は比較的広めで洗体の際の体位変換も余裕があります。(ミクニライフ&オート)



2) 浴槽の出入り介助が大変になってきた

やっぱり浴槽に入りたい時、人力を除くとリフトが唯一の解決策です。

① 吊り上げ式のリフト

多くの製品は壁や天井を壊すような大規模な改修なく設置でき、浴室の狭さや移動など浴槽出入り以外の課題も一緒に解決できることも多くあります。リフト本体は浴室の構造などを前提に選定し、吊り具はお子さんが布製のシートに包まれるタイプと椅子に座るタイプがあります。



●バスパートナー湯ニット + 安楽キャリー

天井の固定レールと移動レールで面の動きができるリフト。条件が良ければ天井裏の補強工事なしで施工が可能な場合もあります。

(パートナー：明電興産・安楽キャリー：モリトー)

② 浴槽内設置のリフト

浴槽内に椅子を設ける機器で、機能は浴槽内での上下移動に限られます。家族が入浴する際の対応や、取り外したとしても濡れている機器をどう保管するかなどの使い方も併せて検討することが大切です。



●バスリフト

リモコンの操作でシートが電動昇降し入浴介助の負担を軽減、電源は充電式電池なので電気工事は不要。家族の入浴時にはシート部分のみ着脱が可能 (TOTO)

検討に
当たっては

住 環境や用具での解決は単独で考えるのではなく、通所や訪問入浴など他のサービスでの解決との比較や、訪問介護やヘルパーなど環境整備や用具の活用を前提とし人的な支援と合わせて考えることが必要です。そのためには関連する支援者との相談や一緒に試用や情報収集をするプロセスが大切です。また、設置や収納場所、組み立ての手間、費用や公費負担制度の情報、また呼吸器等入浴中に必要な機器との連携など必要な検討事項が多くありますので、それらをよく把握した支援者を探し出すことから始めるとよいでしょう。

4 ライフステージにおける入浴状況

0～2歳

まだ身体も小さいため、ベビーバスでの入浴が可能かと思えます。お子さまの成長とともに支える側の負担が大きくなるため、ベビーバスにバスネットやバスチェアを組み合わせると、安定して入浴介助できるようになります。この時期は市販のもので概ね対応が可能であると思えます。キッチンや洗面台にベビーバスを設置し入浴することも可能ですので、介助者に負担が少なく、安全に介助できる環境を検討していきましょう。

想定される入浴場所

- 浴室
- 洗面所
- キッチン

使える制度

- 訪問看護
- 居宅介護



入浴グッズ & 用具紹介



- ベビーバス（バスネット使用）
アパートのキッチンでもベビーバスの設置は可能



- ベビーバス（バスチェア使用）
キッチンの水道をシャワーとして使用

● お風呂事情事例紹介 ●

さーちゃんの場合

- 月 訪問看護（+処置時母と）
- 火 母
- 水 母
- 木 訪問看護（+処置時母と）
- 金 母
- 土 母
- 日 母



ベビーバス
(バスネット使用)

キッチンのシンクを使用し
介助者の負担軽減

処置は、胃管の固定テープ
交換、酸素の固定テープ交
換、皮膚ケアがあり、母と
一緒に実施。

ぼーちゃんの場合

- 月 訪問看護
- 火 訪問看護
- 水 訪問看護
- 木 訪問看護
- 金 訪問看護
- 土 両親
- 日 両親



▲小さい頃は通常の沐浴



▲大きくなり座位が安定。体動が激しくなってきたので、最初に空のベビーバスに本人を座らせシャワーを掛けながら洗体。その後お湯をためて浸かる方法に変更

けんちゃんの場合

- 月 両親（父帰宅後）
- 火 訪問看護
- 水 両親（父帰宅後）
- 木 両親（父帰宅後）
- 金 訪問看護
- 土 両親
- 日 両親



▲通常の沐浴スタイル



▲胃管交換日は、胃管を抜いてしっかり洗顔
→入浴後に胃管挿入

4 ライフステージにおける入浴状況

3～10歳

この時期は身長体重が増加していきます。成長と共にその都度安全にそして楽しく入浴できる方法を考えていきましょう。衣装用プラスチックケース やプラブネ（園芸用のプラスチックの船型の入れ物）、ビニールプール等を 活用したり、ベビーバスより大きめの浴槽も商品化されています。子どもの体重も増え、入浴時のご両親や介護者の負担も増えてきます。毎日安全に負担少なく入浴できる方法を色々試しながら導入することをおススメします。

想定される入浴場所

- ・浴室

使える制度

- ・訪問看護
- ・居宅介護
- ・日常生活用具（シャワーチェアや入浴ネットなど）



入浴グッズ & 用具紹介



- シャワーチェア
自宅の浴槽にシャワーチェアを設置



- 園芸用タライ (☆1)
120L (86cm × 66cm × 34cm)
※園芸用タライは
80L (77cm × 58.5cm × 29.5cm) や
66L (66cm × 47cm × 33cm) のもの
もあり。



- お風呂ネット 湯らりん
(株式会社コーヤシステムデザインHPより)
自宅の浴槽で使用できる入浴補助用具。
様々な家庭用浴槽の大きさに合わせて使
えるよう調整でき、ハンモックのような
ネットに乗ってゆったりとお湯に浸かる
ことができます。

お風呂事情事例紹介

さーちゃんの場合

月 訪問看護（移乗時+母）
 火
 水
 木
 金
 土 両親
 日



▲シャワーチェア上で、下半身湯に浸かりながら、洗体・洗髪を行う



▲介助者は浴室の椅子に座り介助。呼吸器の回路はマジックテープでドアノブに固定し安全に入浴

ぼーちゃんの場合

月 訪問看護+母
 火
 水 訪問看護+母
 木
 金 訪問看護+母
 土
 日



▲介助者の腰への負担を少しでも減らすため、浴室椅子を複数準備し、座って介助



▲呼吸器に水ハネや湿気による負担がかからないよう、脱衣場と浴室の扉は開放し、呼吸器は脱衣場に配置

けんくんの場合

月 訪問看護+居宅介護
 火 両親
 水 両親
 木 訪問看護+居宅介護
 金 居宅介護+母
 土 両親
 日 両親



▲衣装ケースを(☆2)浴槽代わりに使用し入浴介助の様子



▲洗髪のみしっかり行いたい場合、キッチンスペースにご本人を寝かせ、シンクを使用しての介助の様子。腰への負担は少ない。

(☆1、2)「園芸用タライ」、「衣装ケース」は、一般に市販されているものを、それぞれのご家庭の責任で入浴用に活用されています。

4 ライフステージにおける入浴状況

11～18歳

この時期は、個人差はありますが、思春期を迎え、身長・体重ともに急激に増えてくる時期です。これまで、福祉用具等を使わず工夫を重ね入浴介助できていた場合でも、少しずつご家族や介助者が身体的な負担を感じるようになってきます。ご本人にとっても安楽な入浴の時間となるよう、福祉用具の導入や、入浴サービス（訪問入浴など）の導入も考えていきましょう。これまでの方法を根本的に見直すため、相談支援専門員や福祉用具を取り扱っている業者に相談したり、福祉機器展に出向いたりすることもおすすめします。

想定される入浴場所

- 自宅の居室（福祉用具の利用や、訪問入浴などの入浴サービス）
- 自宅の浴室（リフト使用下が望ましい）

使える制度

- 訪問看護
- 居宅介護
- 訪問入浴
- 日常生活用具（リフト・簡易浴槽等）



入浴グッズ & 用具紹介



● 簡易浴槽ユーラック（東京技研HPより）

自宅の居室（ベッドサイド）で使用できる簡易浴槽。担架式になっているので、移乗が容易に出来ない方も、介護用ベッドの上下モーター機能と併用して使用することで移乗動作を最小限に入浴介助できる。頭部と体幹のスペースが仕切られており、洗髪・洗体できるものもある。



- ご自宅の浴室にリフト設置されたご家庭の様子

お風呂事情事例紹介

さーさんの場合

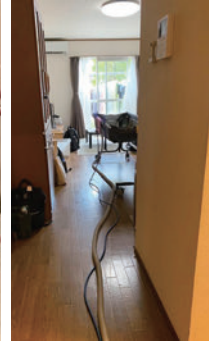
- 月 訪問看護＋居宅介護
- 火
- 水 訪問看護＋居宅介護
- 木
- 金 訪問看護＋居宅介護
- 土 通所事業所
- 日



▲簡易浴槽(クーラック)を居室に設置した様子



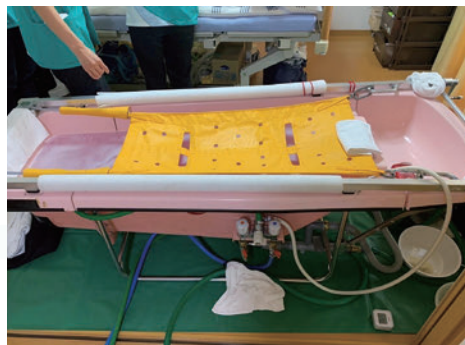
▲頭部頸部の保持用に、マジックテープとスポンジロールを組み合わせ設置した様子



▲給排水は、自宅の浴室と簡易浴槽で全て完結。給水には、園芸用シャワーホースとシャワーヘッドを代用

ぼーさんの場合

- 月 訪問入浴＋訪問看護
- 火
- 水 訪問入浴＋訪問看護
- 木
- 金
- 土 訪問入浴＋母
- 日



▲訪問入浴の浴槽を居室に設置した様子
インターネットで「訪問入浴 動画」で検索すると、一連の流れが見れてイメージしやすいと思います。



▲3名のスタッフで入浴介助してもらえる。人工呼吸器や吸引器などの必要な医療機器の移動が少なく安全。

けんさんの場合

- 月 居宅介護(洗髪)
- 火 訪問入浴
- 水
- 木
- 金 訪問入浴
- 土
- 日



▲ベッド上で臥床したまま洗髪できる洗髪器



◀洗髪時、加圧式ポータブルシャワーを利用。浴室からお湯を運ぶのにキャスターがついており楽に運ぶことができる。

4 ライフステージにおける入浴状況

18歳～

成長（体格・体重・身長が増加）も少しずつ落ち着く年齢かと思います。ご自宅での入浴を希望する場合は、引き続き、ご本人・介助者双方の安全・安楽を考えた入浴方法を考えていきましょう。具体的には、前ページでご紹介した、訪問入浴や浴室にリフトを設置しての入浴や、居室で簡易浴槽等を使用した入浴が想定されます。また、生活介護や日中一時支援などの通所事業所で入浴サービスを受けられる場合もあります。入浴方法や対応できる回数などは事業所により様々ですので、実際に見学などをしてご検討されることをおすすめします。

想定される入浴場所

- 自宅の居室
- 自宅の浴室（リフト使用下が望ましい）
- 通所事業所

使える制度

- 訪問入浴
- 日常生活用具（リフト・簡易浴槽等）
- 生活介護や日中一時支援などの通所事業内



入浴グッズ & 用具紹介

（通所事業所内での入浴機器の紹介）



- ミスト浴
（ストレッチャー式
シャワー入浴装置）

- リフト浴+浴槽内
にシャワーチェア



お風呂事情事例紹介

さーさんの場合

- 月 通所事業所
- 火 通所事業所
- 水 通所事業所
- 木 通所事業所
- 金 通所事業所
- 土日



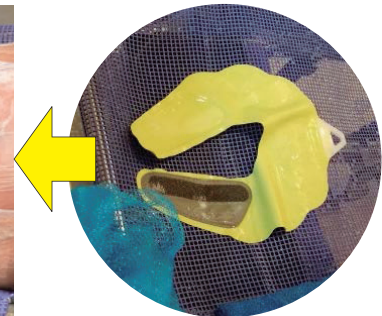
▲ミスト浴ドーム内で温まりながら洗髪が行える。



▲人工呼吸器への水はね防止のため、透明ベビーカーカバーをかぶせている。



▲呼吸器の呼気ポート部分からの水の流入を防ぐため、オーボール(☆3)を呼吸器回路にはさみ、その上からビニールでふんわり保護。



▲ネックシャッター(☆4)をこの向きで使用することで、気管切開部からの水の流入を防ぐ。ラテックスアレルギーのある方は使用不可。

ぼーさんの場合

- 月 訪問入浴
- 火 訪問入浴
- 水 訪問入浴
- 木 通所事業所で清拭+洗髪
- 金
- 土日



けんさんの場合

- 月 通所事業所 (A事業所)
- 火 通所事業所 (B事業所)
- 水 通所事業所 (B事業所)
- 木 通所事業所 (C事業所)
- 金 通所事業所 (C事業所)
- 土日



▲一か所の通所事業所で週に複数回の入浴介助が受けられない場合もあります。その場合、複数の事業所を利用することになりますが、対応できる事業所を利用することで、入浴回数を確保することもできます。

(☆3、4)「オーボール」、「ネックシャッター」は、一般に市販されているものを、それぞれのご家庭や事業所の責任で入浴用に活用されています。

5 入浴前に体をほぐすためのワンポイントアドバイス



作業療法士さんに
聞きました!

お風呂を
さらに気持ちいいものに!

《入浴前マッサージ 3か条》

その1 触るとき

指先に力を入れないように

その2 触るところ

肘や足を支えて軽くしてあげる

その3 動かしかた

押してダメなら引いてみる



3か条その1の
ポイント

手をなじませる

- 指先に力が入っていませんか？
- 一呼吸して力を抜きましょう！



指先に力が入った状態で触ると、相手に緊張が伝わり、さらに力が入る・・・となってしまいます。

まず、自分の体を触ってみるとよくわかりますよ！

指先に力が入っている状態で触られるとどう感じるか、一呼吸して力を抜いて、手をなじませる感じで触られるとどう感じるか・・・

試してみて違いを感じてください。

3か条その2の
ポイント

肩がわりしてあげる

- 腕や足はかなり重いものです。
- その重さを少し軽くしてあげましょう！



体重が60kg の人の場合、片腕の重さは3.6kg、片足の重さは10.2kg ありとされています。その重さを支えるために力を入れていますが、無意識に行っているため、自分では力を入れていることに気がつきません。

ですから、その重さを支えてあげる（肩がわりする）ことで、力が抜けることにつながるんですね。

3か条その3の
ポイント

逆転の発想で

- 強引に伸ばすことは無理があります。
- 曲がっている方向へ少し動かしてあげてから伸ばしてあげましょう！



たとえば曲がった肘を伸ばそうとするとき、つい伸ばしたい方向に力を加えてしまうものです。

体の生理学上、力が加わると、逆方向に戻ろうとする力が働くので、その力を利用しましょう。つまり、曲がっている方向にまず動かすことで、逆方向（伸ばしたい方向）へ向かう力を引き出すということですね。

6 入浴の支援が受けられるサービス

サービスを上手に利用することで、本人も家族も、より心地よく入浴時間を過ごすことができます。

入浴に関する支援が受けられるサービスをご紹介します。

訪問看護

私たち看護師が自宅を訪問し、主治医の指示の元、健康状態や医療的ケアや機器管理を支援します。また、身体能力の維持の為、リハビリなども行います。

手続き方法

主治医に相談し、主治医から訪問看護ステーションに指示書を出してもらいます。



ご家族の声

訪問看護師さんに体調をみてもらった後に、お風呂の準備をして協力してもらいながら、2人で入浴しています。入浴している間に、ベッドメイキングや着替えの準備ができて、助かります。

相談支援

私たち相談支援専門員が、福祉サービス全般の利用プラン（サービス等利用計画）を立て、必要なサービスの種類や量を調整します。サービス利用だけでなく、生活全般や将来のことなども気軽にご相談ください。

手続き方法

サービス利用の申請時に行政から、相談支援事業所の一覧などが案内されます。それらを参照に相談支援事業所に相談してください。



ご家族の声

サービスの使い方不安になった時、困った時に話を聞いてくれ、手続きのお手伝いをしてくれます。本人から離れることが難しいので、助かっています。サービスのことだけでなく、本人のこれからの生活の様々な話を聞いてくれたり、訪問看護師さんやヘルパーさんと連絡を取ってくれるのでいつも相談しています。

訪問入浴

私たち訪問入浴事業所から看護師・介護士等スタッフ3名でご自宅までお伺いします。組み立て式の浴槽を持っていきますので、お部屋などでお風呂に入れます。

手続き方法

行政の障害福祉に関わる窓口で相談します。「地域生活支援事業」というサービスで市町村によって基準が異なります。



ご家族の声

自宅のお風呂では狭いので、大きな浴槽で足を伸ばして入れる訪問入浴を利用しています。入浴剤を入れて香りを楽しんでリラックスして入浴しているのを見ると、ホッとします。

居宅介護 (身体介護)

私たちヘルパーが自宅を訪問して、入浴や排泄のお手伝いをします。自宅のお風呂を使い、場合によってはヘルパー2人体制や訪問看護師と2人で入浴の支援を行うこともあります。

手続き方法

行政の障害福祉に関わる窓口で相談します。サービスを利用するために、聴き取り調査や相談支援専門員に「サービス等利用計画」を作成してもらう必要があります。



ご家族の声

ヘルパーさん2人来てもらい、自宅で入浴しています。入浴している間に、着替えやベッドメイキングができるので、助かります。2人で来てくれるので、安心してお任せしています。

生活介護 18歳以上

事業所に通所いただき、施設の入浴機器で、身体に負担なく入浴できます。希望によっては、送迎車(リフト車)での送迎も相談に乗ります。

手続き方法

行政の障害福祉に関わる窓口で相談します。サービスを利用するために、聴き取り調査や相談支援専門員に「サービス等利用計画」を作成してもらう必要があります。



ご家族の声

事業所にある入浴機器で入浴しています。複数のスタッフで丁寧にしてくれますし、自分の時間も少し確保できています。全身状態を見てくれるので、何か気になったことがあると報告してくれるので、早めの相談ができて、安心です。



在宅で安全・安心にお風呂を楽しむために ～重度の障がい児者の入浴サポートBOOK～

発行 2023年3月
とちぎ地域生活サポート研究会

《作成協力者》 伊藤勝規様
(NPO法人とちぎノーマライゼーション研究会)

《デザイン・印刷》 デザインスタジオ アクセス

●本サポートBOOKのダウンロードが可能です。➡

URL : <https://www.npourizn.org/sapoken-nyuyoku-book/>



★このサポートBOOKは、公益財団法人 在宅医療助成勇美記念財団の助成を受けて、とちぎ地域生活サポート研究会が制作しています。電子版をウェブ上で無料公開しています。ご自由にご活用ください。ただし、内容の改変や商用利用(有料転売)は禁止です。



**在宅で安全・安心に
お風呂を楽しむために**

～重度の障がい児者の入浴サポートBOOK～



《発行》

2023年3月

とちぎ地域生活サポート研究会



サポートBOOKのダウンロードが可能です。

URL : <https://www.npourizn.org/sapoken-nyuyoku-book/>